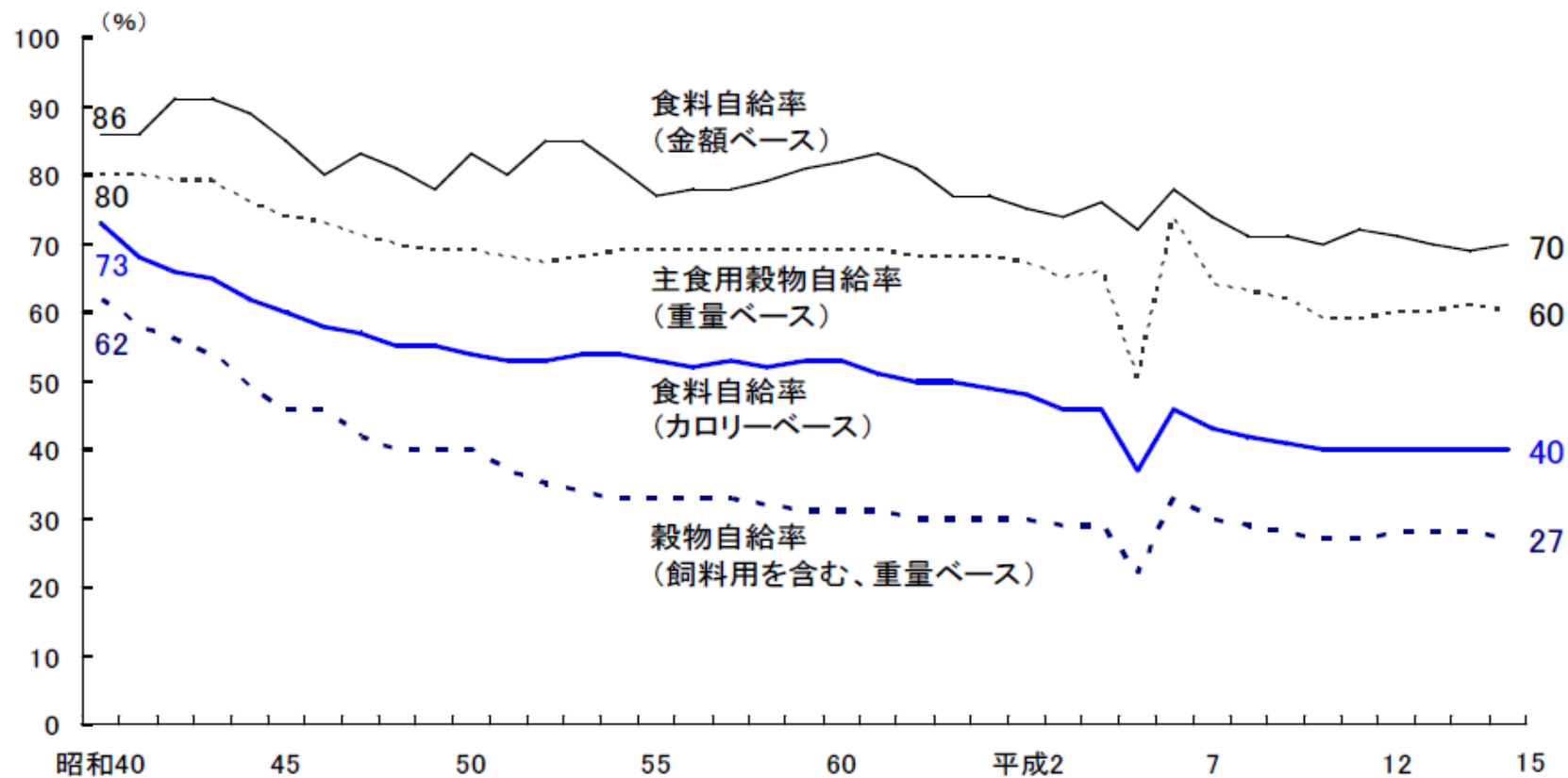


日本の食料事情

食料自給率に関する考察
農林水産省による分析

図2 食料自給率の推移



(資料) 農林水産省「食料需給表」

図3 各国の食料自給率（カロリーベース）の推移

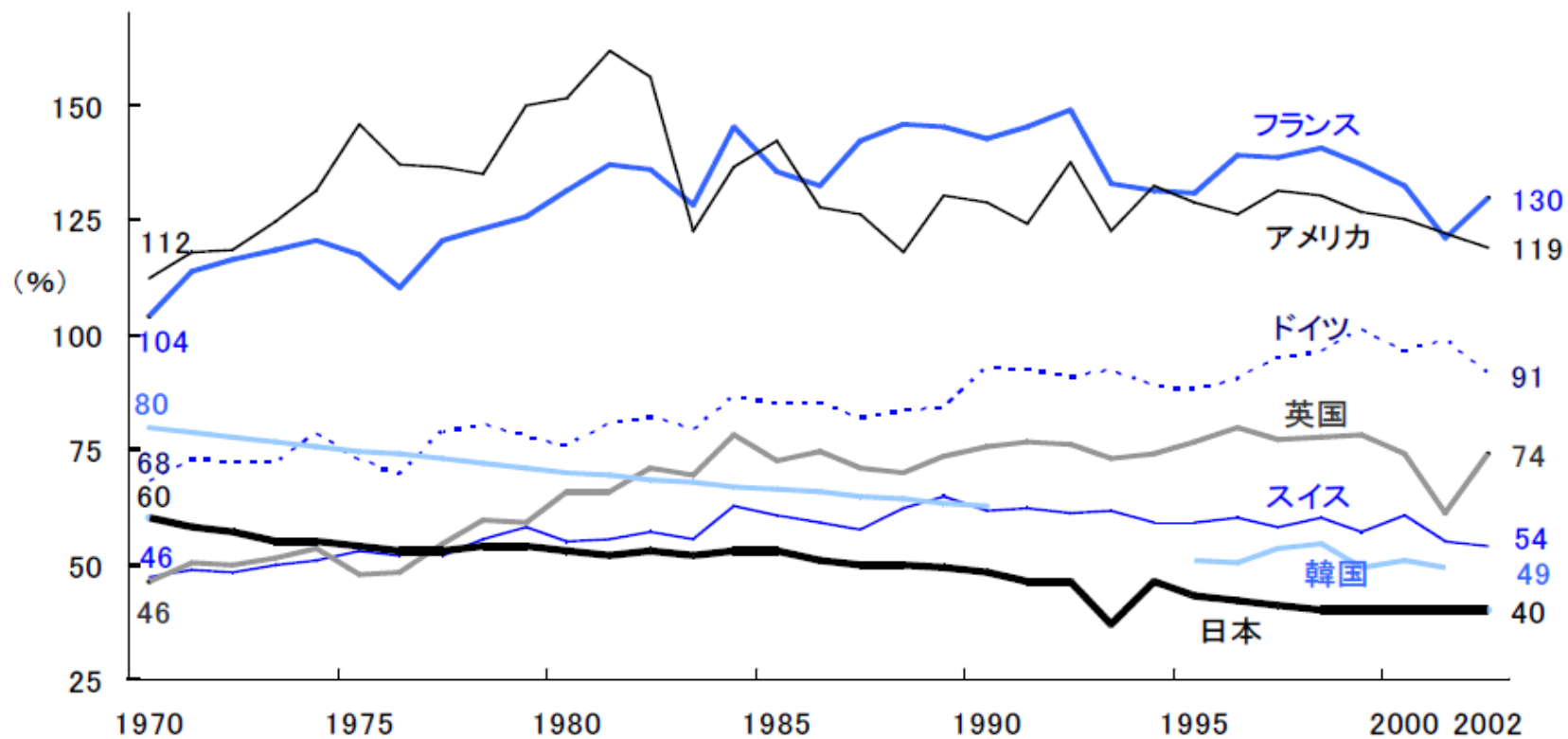
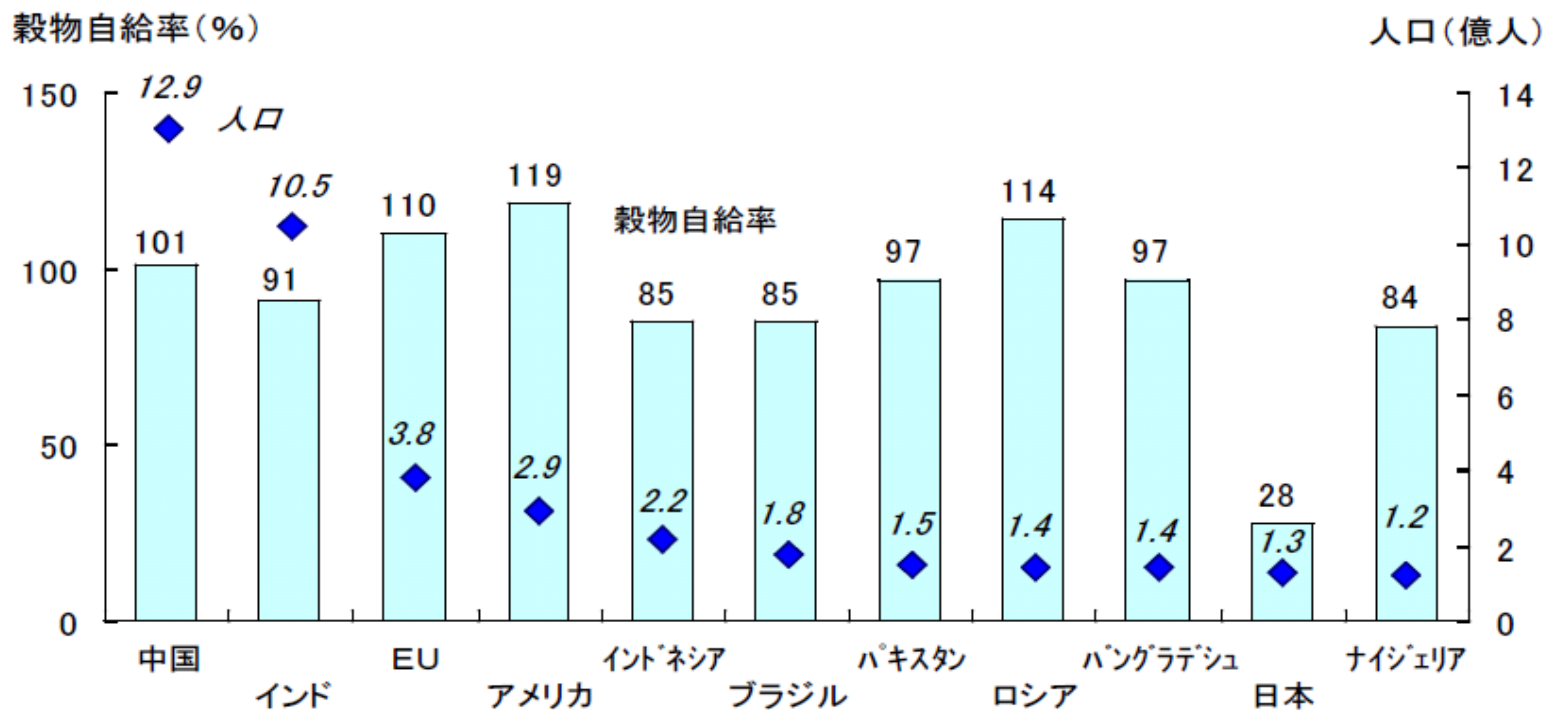
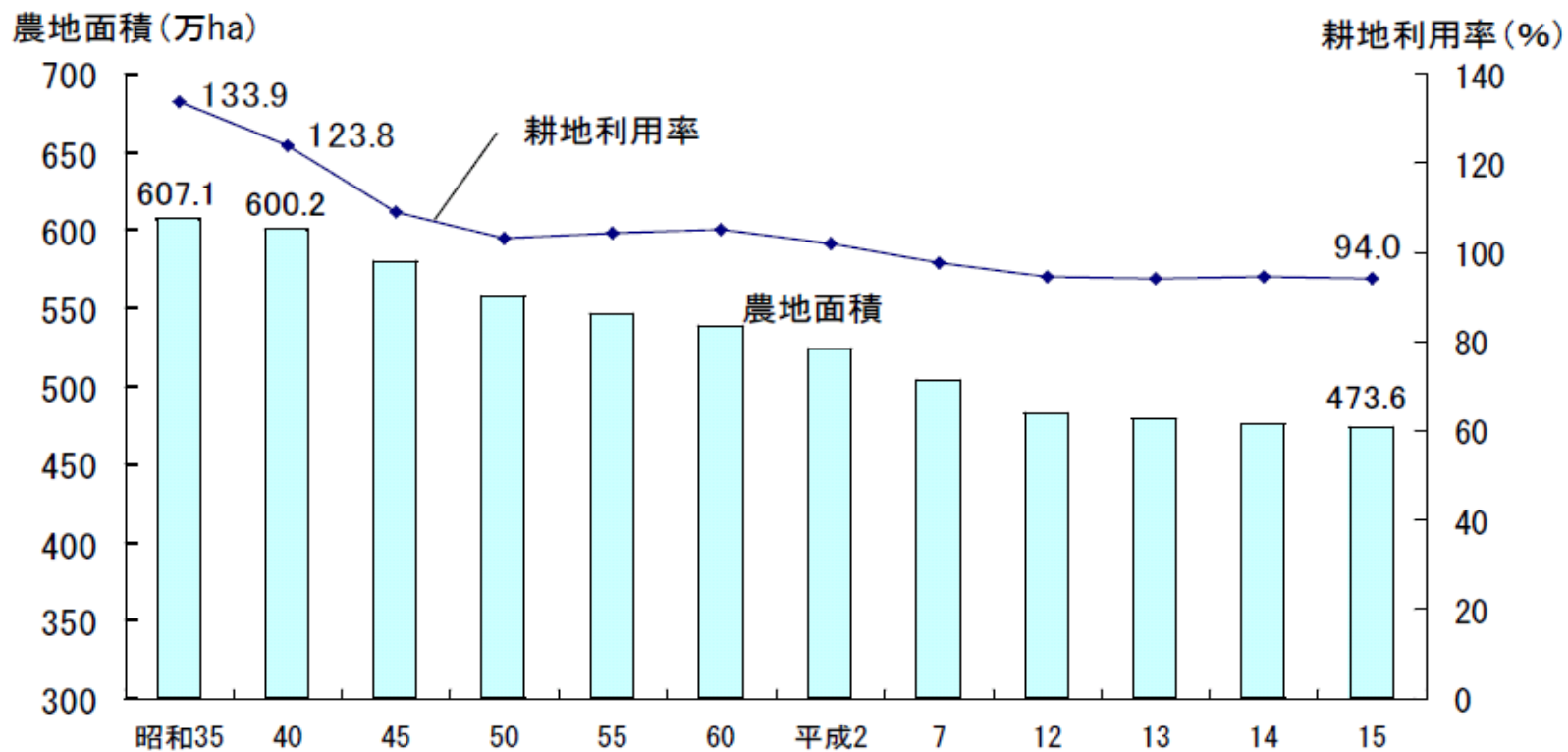


図4 人口1億人以上の主な国の穀物自給率(2002年)



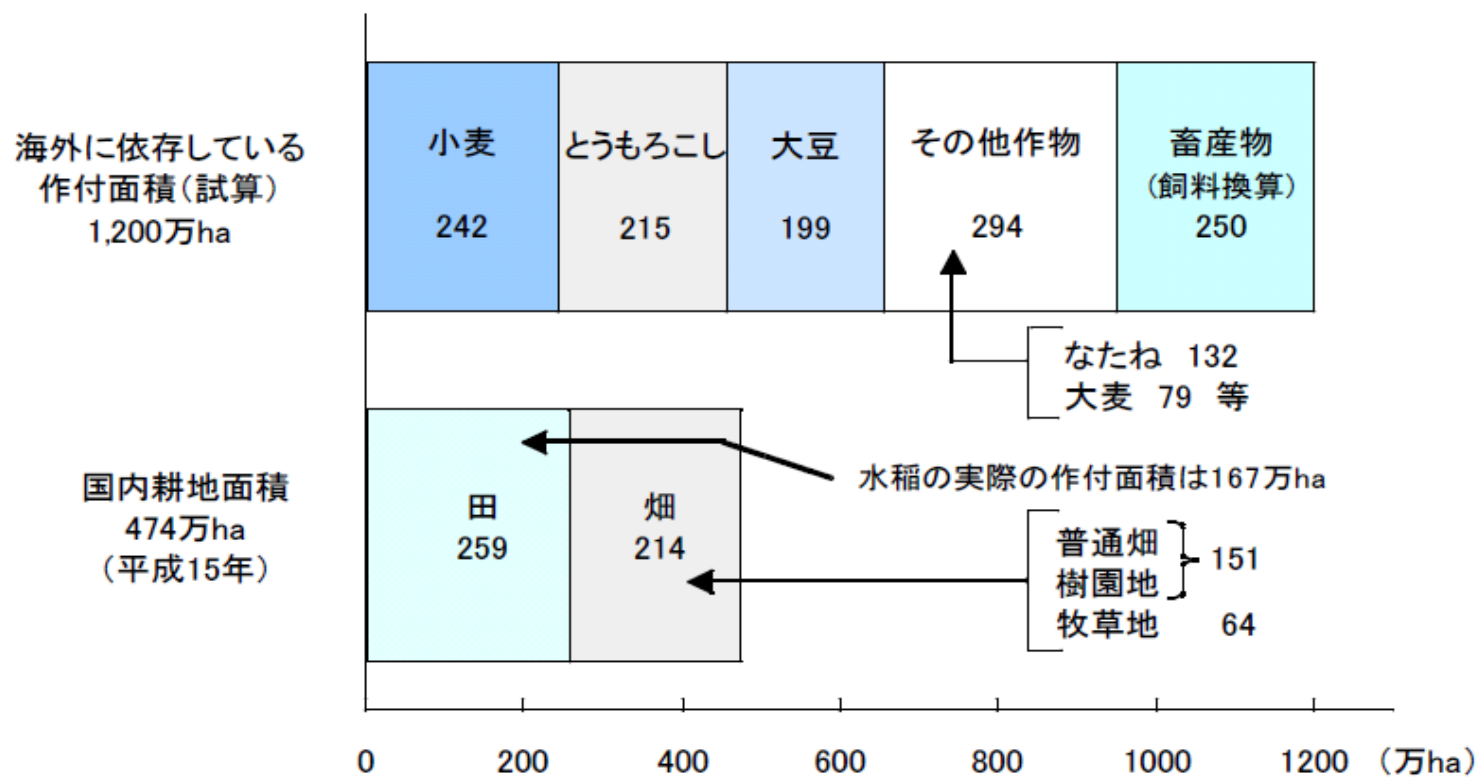
(資料) FAO「FAOSTAT」

図5 農地面積及び耕地利用率の推移

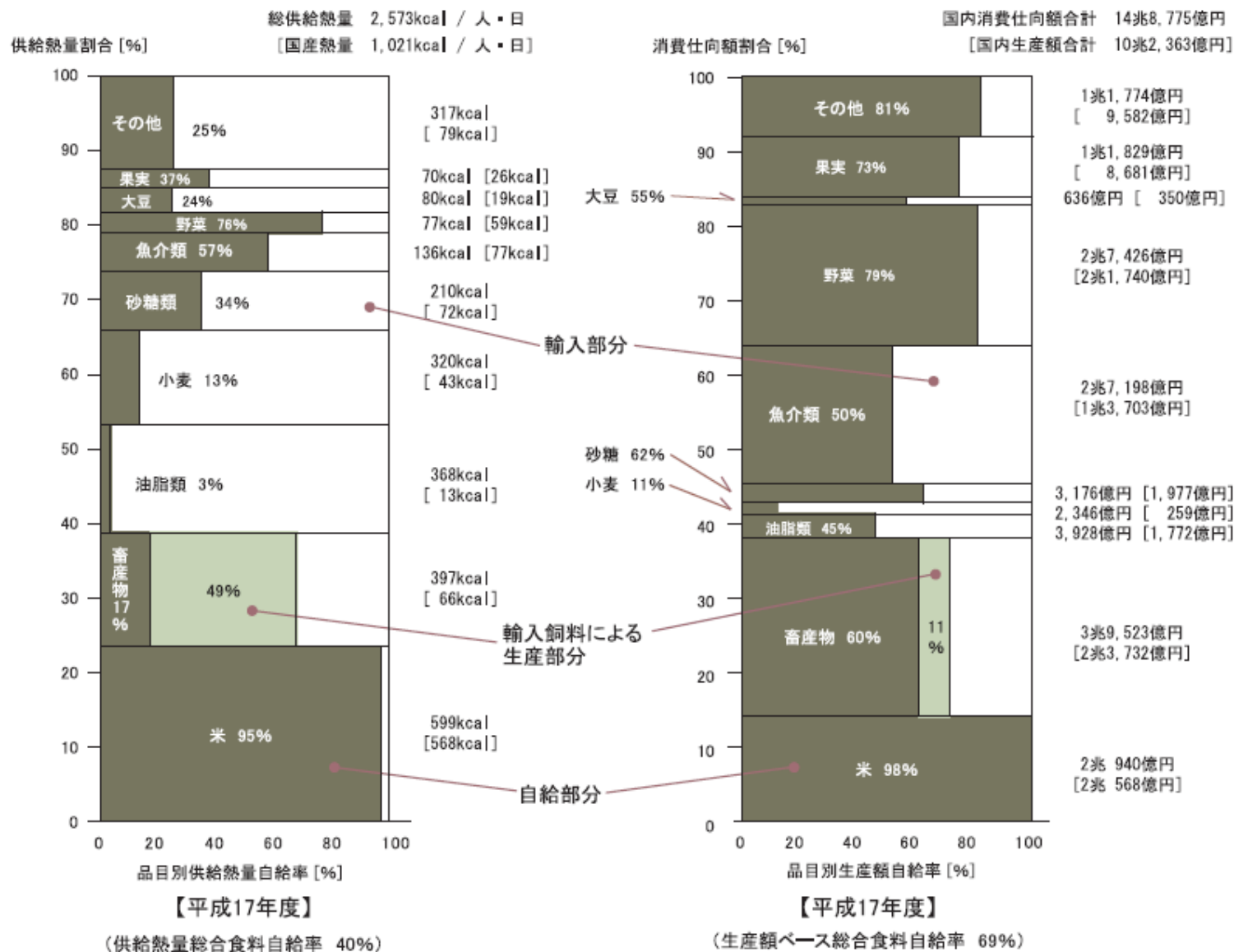


(資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

図31 主な輸入農産物の生産に必要な海外の作付面積（試算）



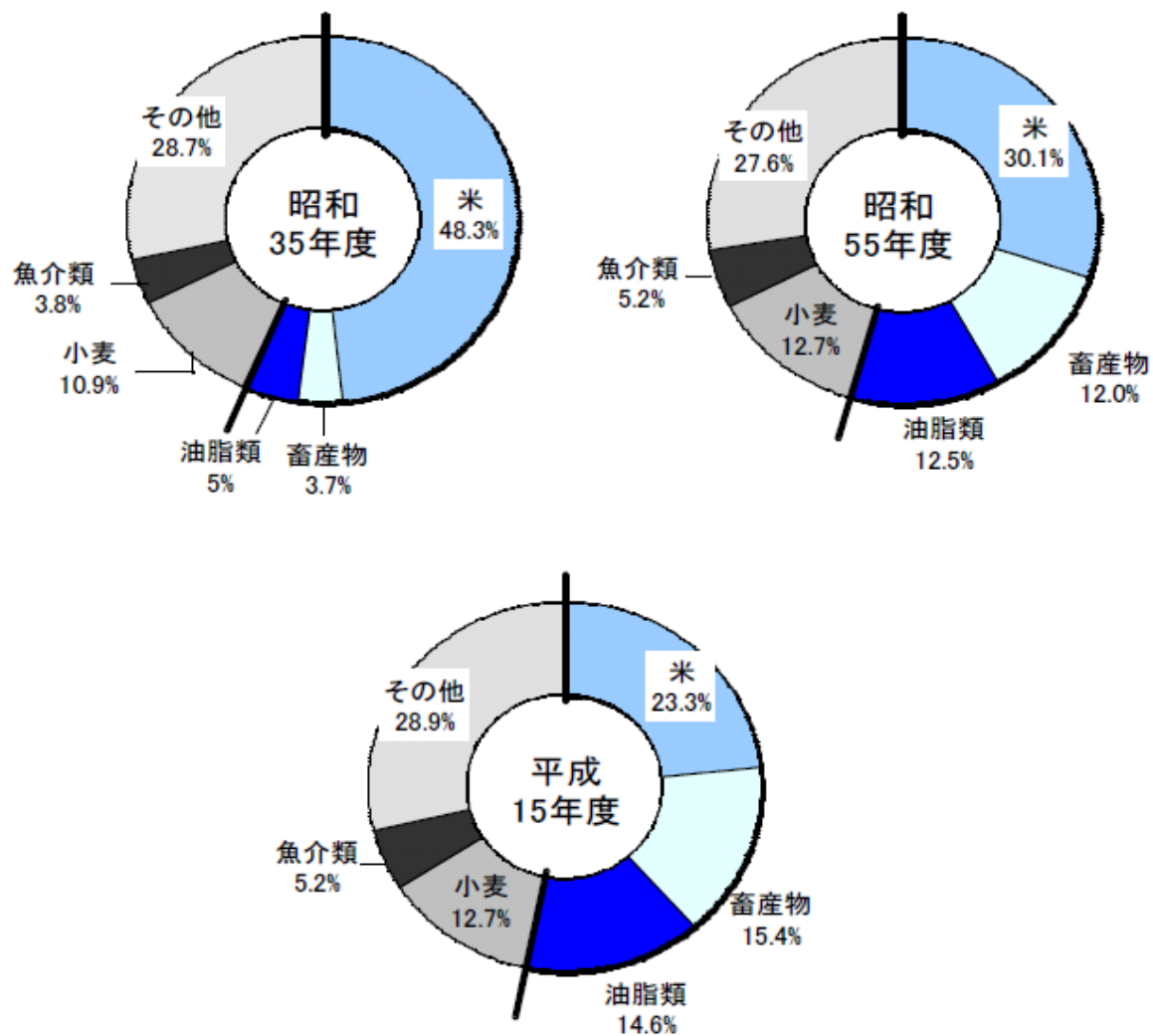
カロリーベースと生産額ベースの総合食料自給率（平成17年度）



食料自給率が低下した主な原因は、米の消費減少に見られる食生活の大きな変化

食料自給率が大きく低下した主な原因は、実は、私たち日本人の食生活が大きく変化したことにあります。

図6 食生活の変化（供給熱量の割合の推移）



○ 国民1人1年当たり消費量（供給純食料）の変化

- ・ 米の消費の減少（ピーク時の1/2）
1人1年当たり 118.3kg（昭和37年度）
⇒ 61.9kg（平成15年度）
- ・ 肉類の消費の増加（約5倍に増加）
1人1年当たり 5.2kg（昭和35年度）
⇒ 28.2kg（平成15年度）
- ・ 油脂類の消費の増加（約3倍に増加）
1人1年当たり 4.3kg（昭和35年度）
⇒ 15.0kg（平成15年度）

（資料）農林水産省「食料需給表」

表2 畜産物・油脂 1kgを生産するために必要な穀物等の量（試算）

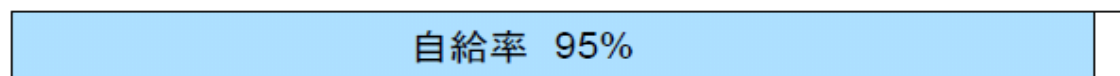
牛 肉	豚 肉	鶏 肉	鶏 卵	大豆油	なたね油
11kg	7 kg	4 kg	3 kg	5 kg	2 kg

- (注) 1. 牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵については、必要な飼料の量をとうもろこし換算した場合の数値である。
 2. 牛肉、豚肉、鶏肉については、部分肉ベースである。
 3. 大豆油、なたね油については、それぞれを1kg生産するのに必要な大豆、なたねの量である。

図8 米、畜産物、油脂類のカロリー自給率

- ・米は自給可能な作物であるが、消費量が減少

米



- ・畜産物の生産に必要な飼料穀物の多くを海外に依存

畜産物



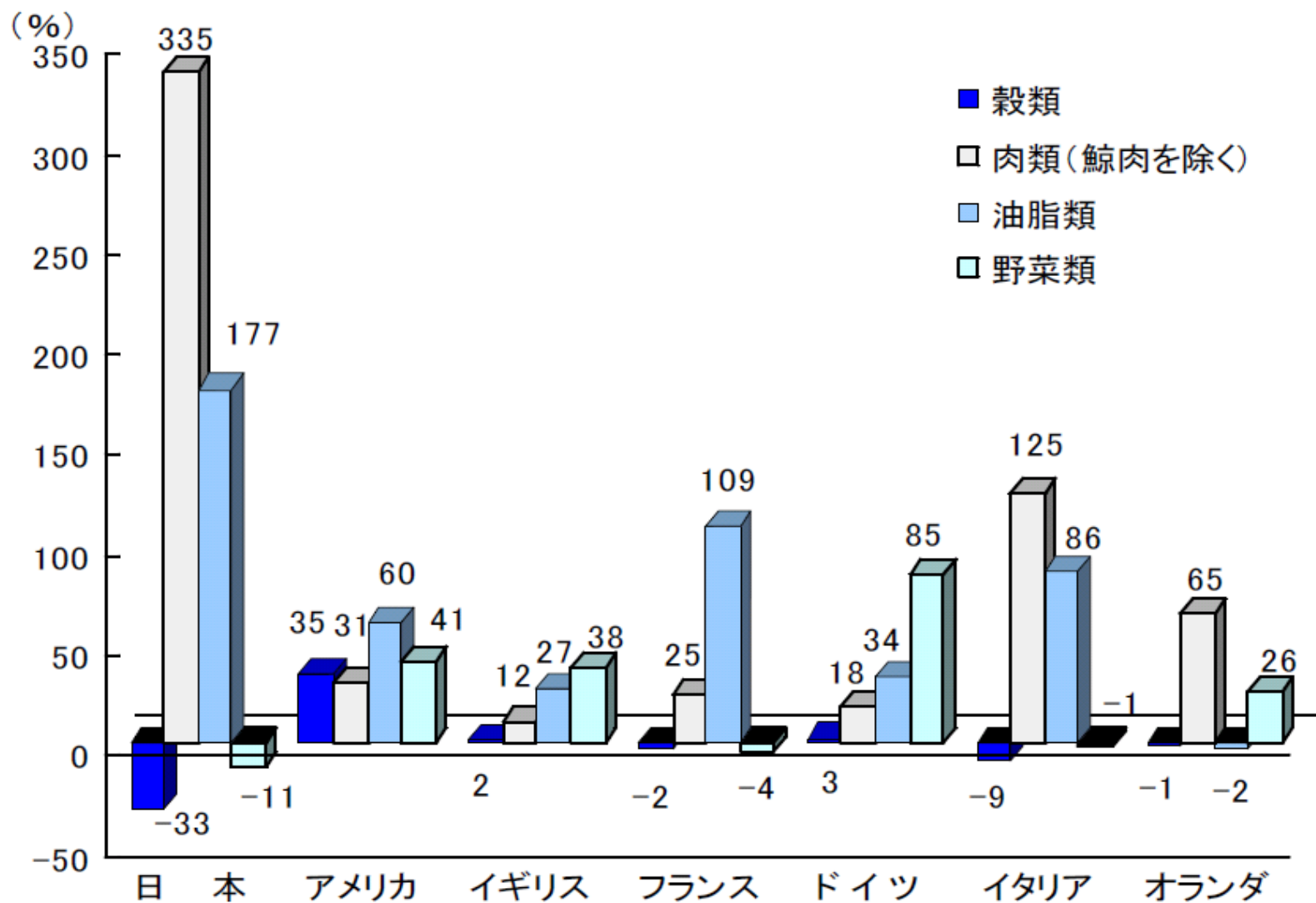
- ・油糧原料の大豆、なたね等もほとんど海外に依存

油脂類



(資料) 農林水産省「食料需給表」

図10 主要先進国の食料消費の変化（2002年／1965年）



(資料) FAO「FAOSTAT」

農林水産省「食料需給表」

(注) 日本は2003年／1965年の数値を用いている。

食生活が大きく変化したのは、先進国の中で日本だけ

主要先進国の中で日本ほど食生活が大きく変化した国は他にありません。

食料自給率を決定づける要素は、消費動向や生産動向、人口の動向等様々であるものの、主要先進国の食料自給率が日本のように低下していないのには、食生活が変化していないということも少なからず影響していると考えられます。

英国の食料自給率は向上したが、そもそも日本に比べ農業資源が豊かであるなど基礎条件がまったく異なるため、自給率のみを単純に比較することはできない

図11 主要先進国の人口と国民1人当たり農地面積（2002年）

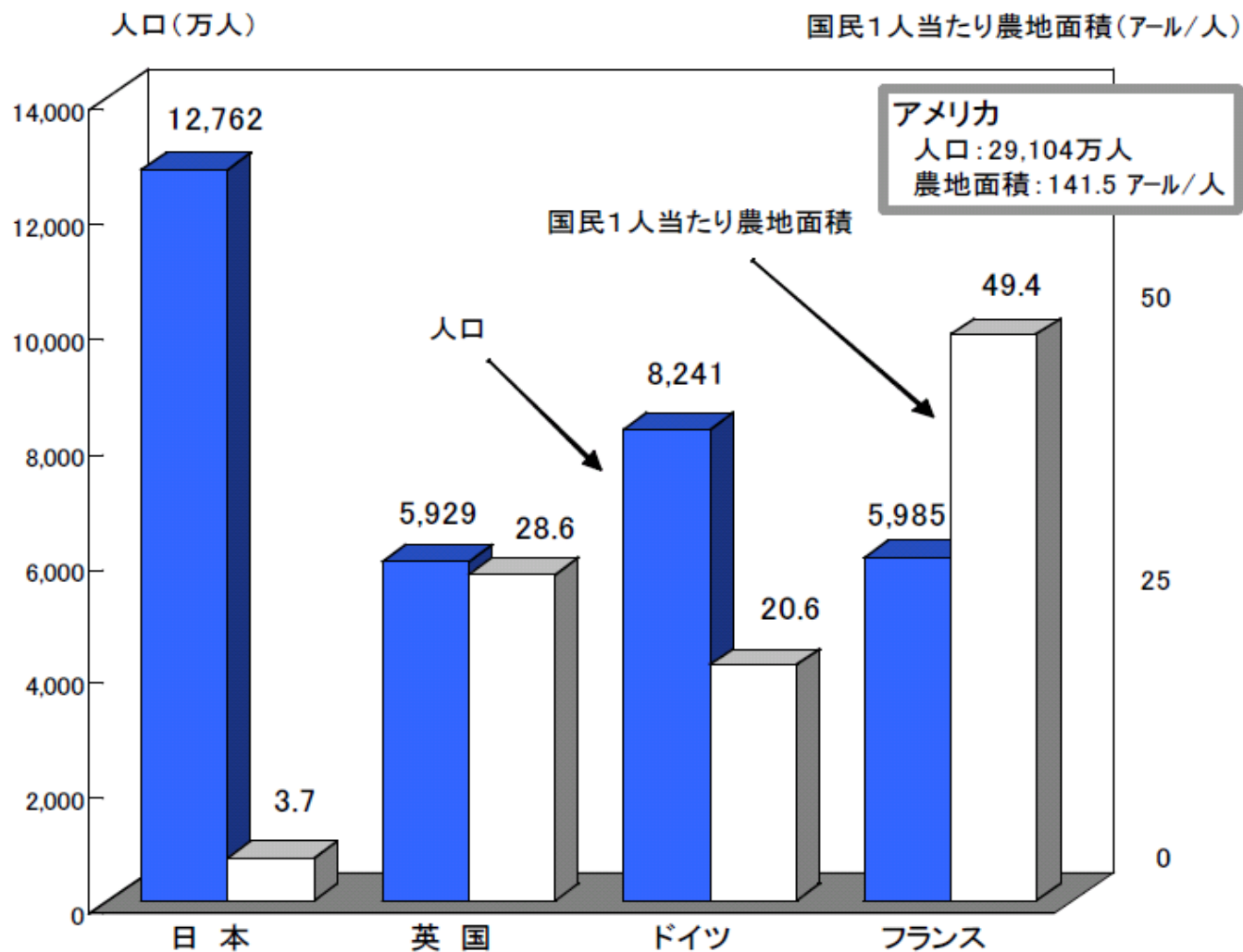


図12 人口1人当たり農地面積

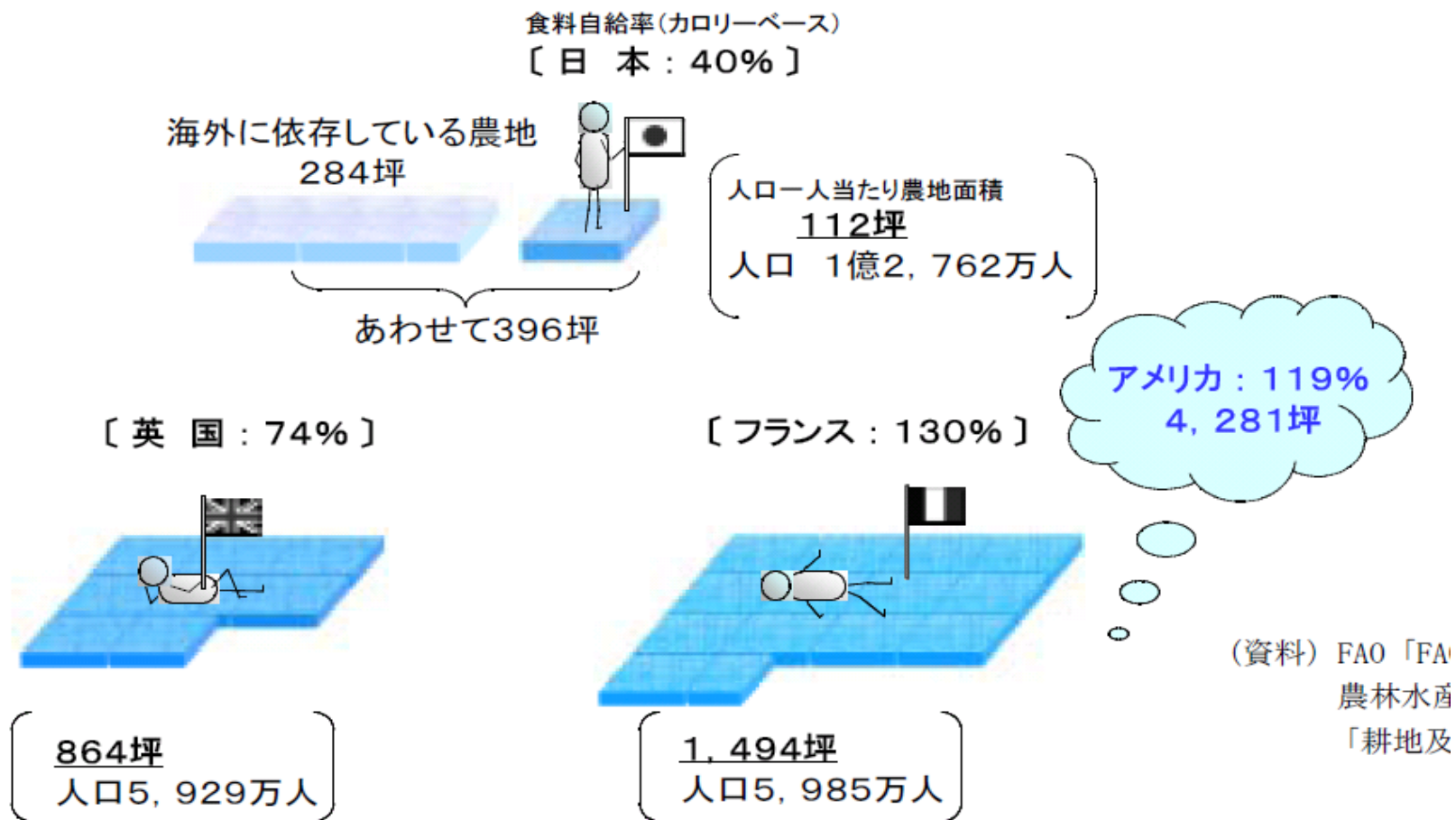


図13 食料消費の変化率

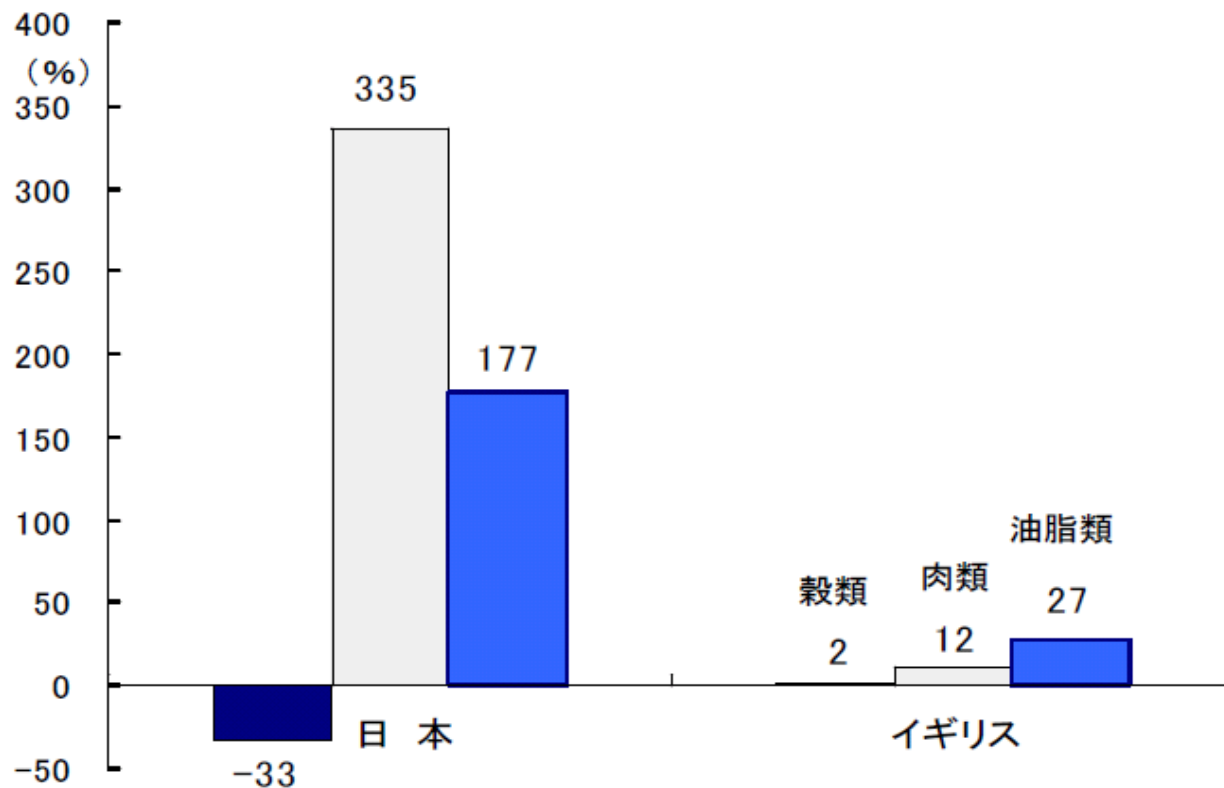


図15 農家1戸当たり農地面積の比較

農地面積(百万ha)
農家1戸当たり〃(ha/戸)

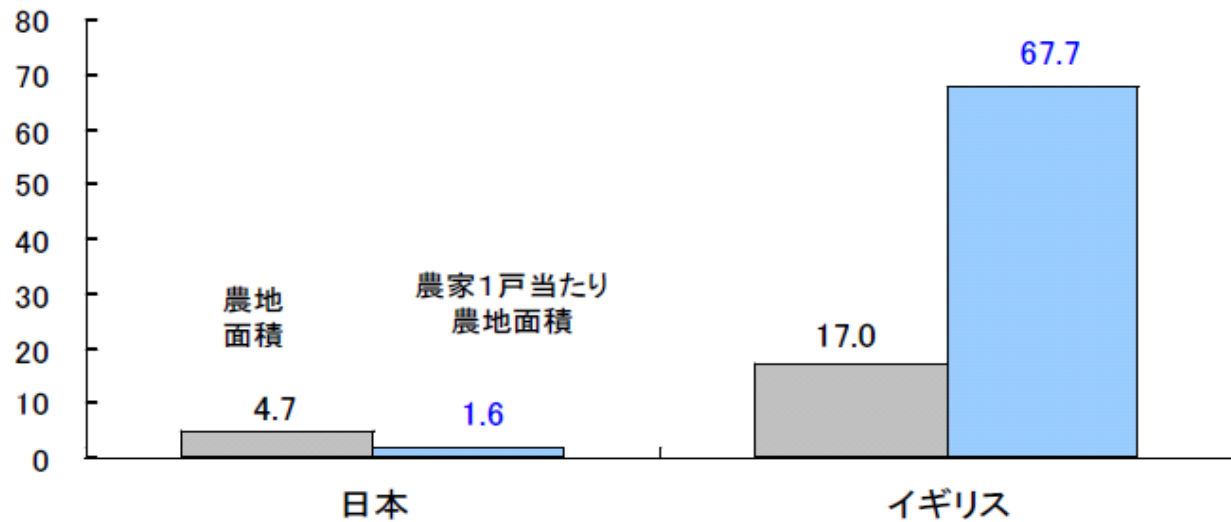
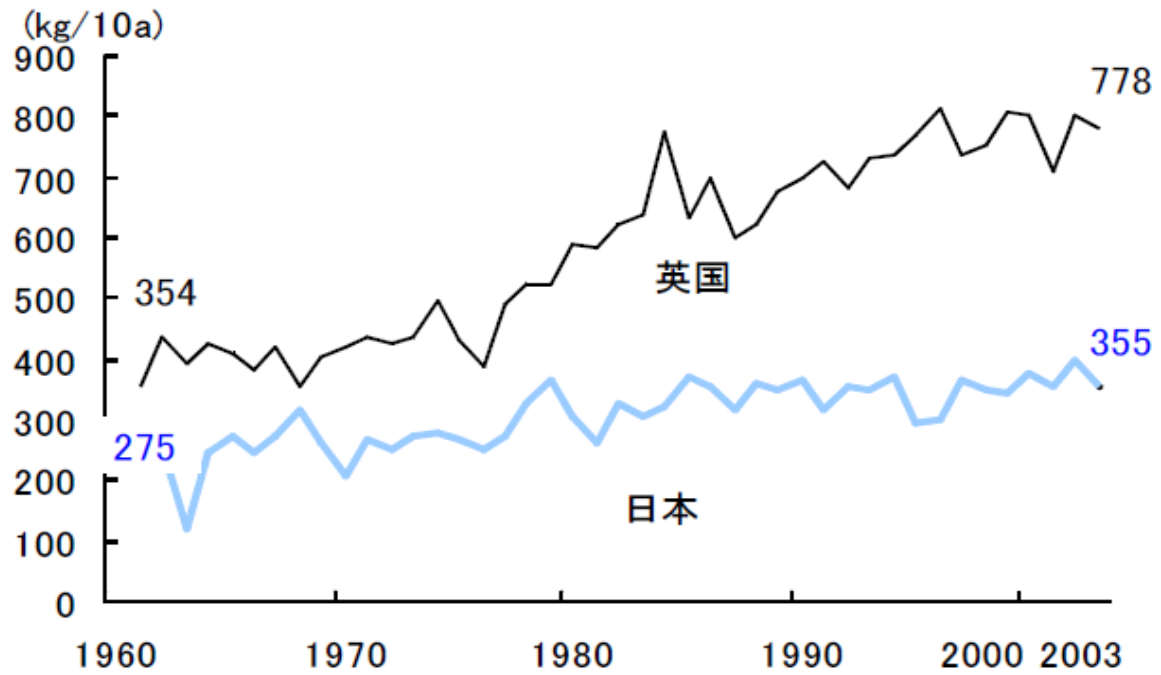
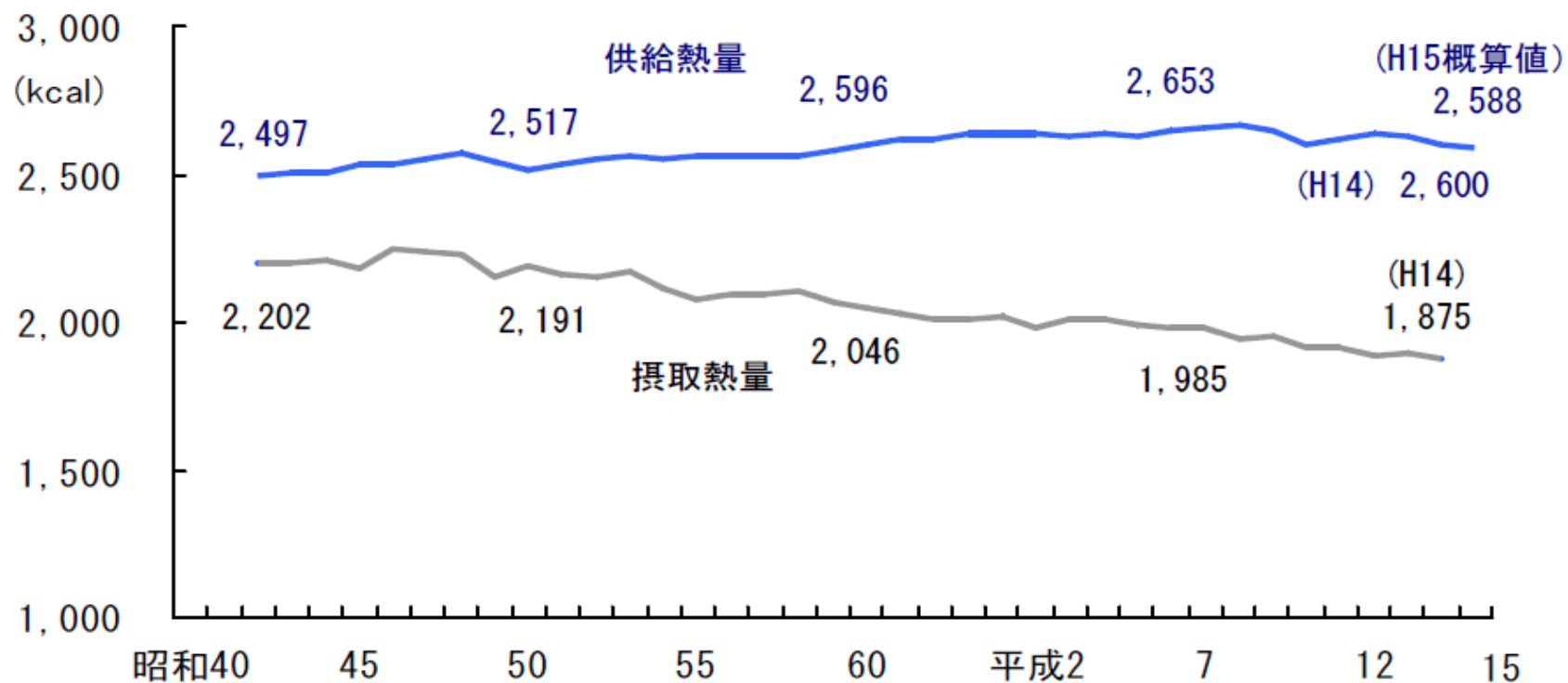


図16 小麦の単収の比較



食品の廃棄や食べ残しの増加による環境への影響も懸念

図20 供給熱量と摂取熱量の推移



5. 国内生産の縮小

国内生産が需要に対応できず、縮小していることも食料自給率の低下要因

図21 外食率、食の外部化率の推移

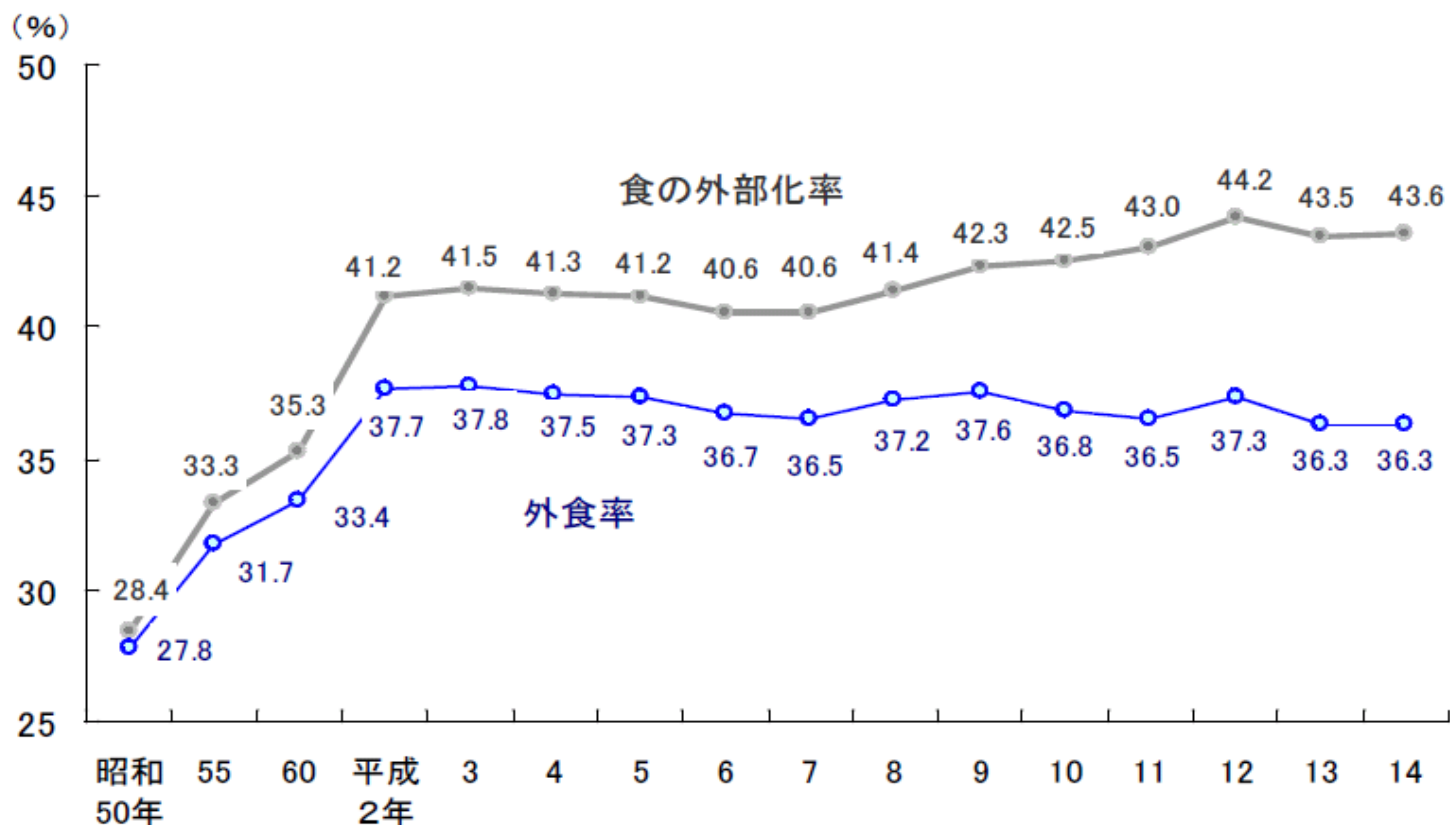


図22 我が国の加工度別食料品輸入の推移

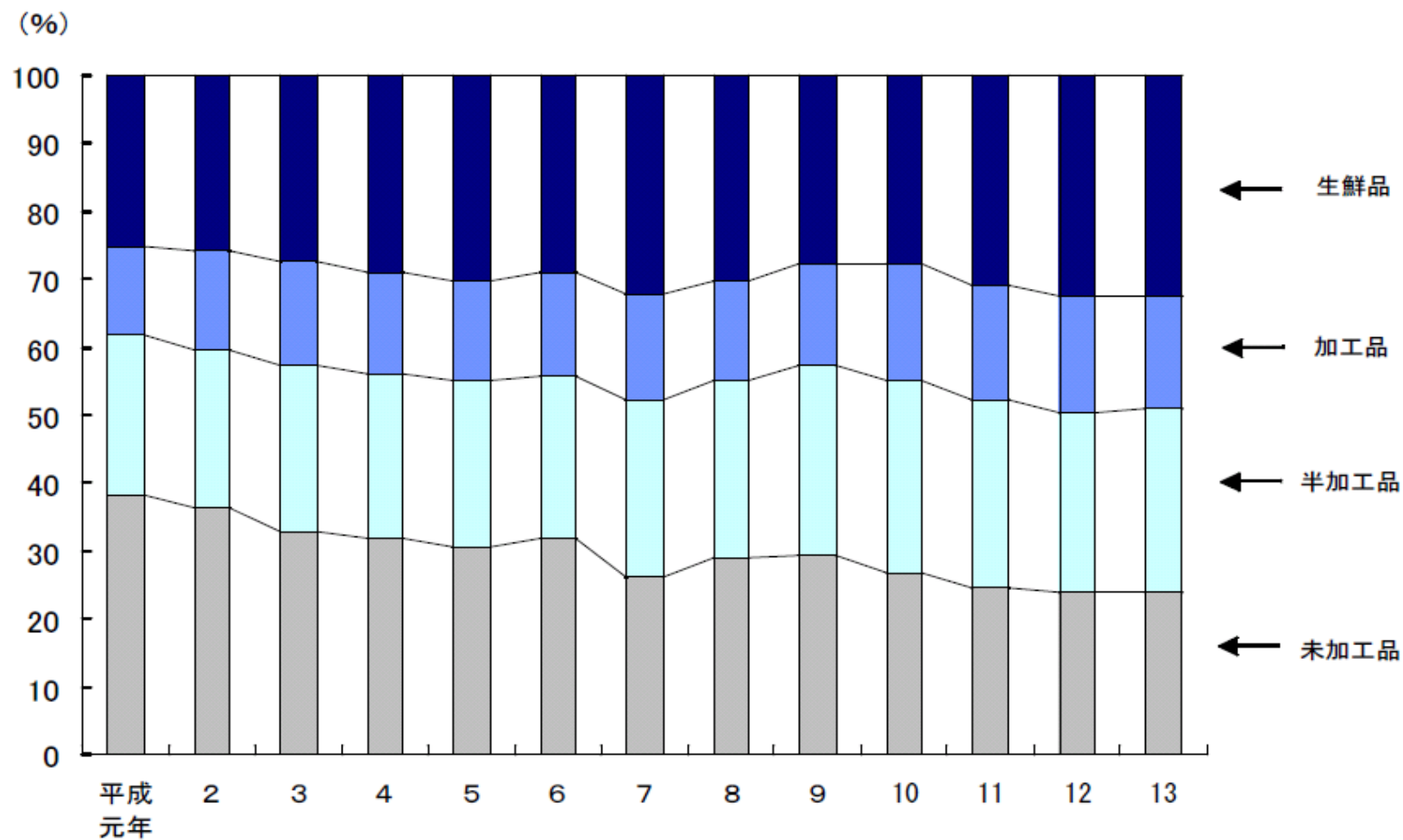


図24 牛肉の用途別消費仕向量の内訳（平成14年度）

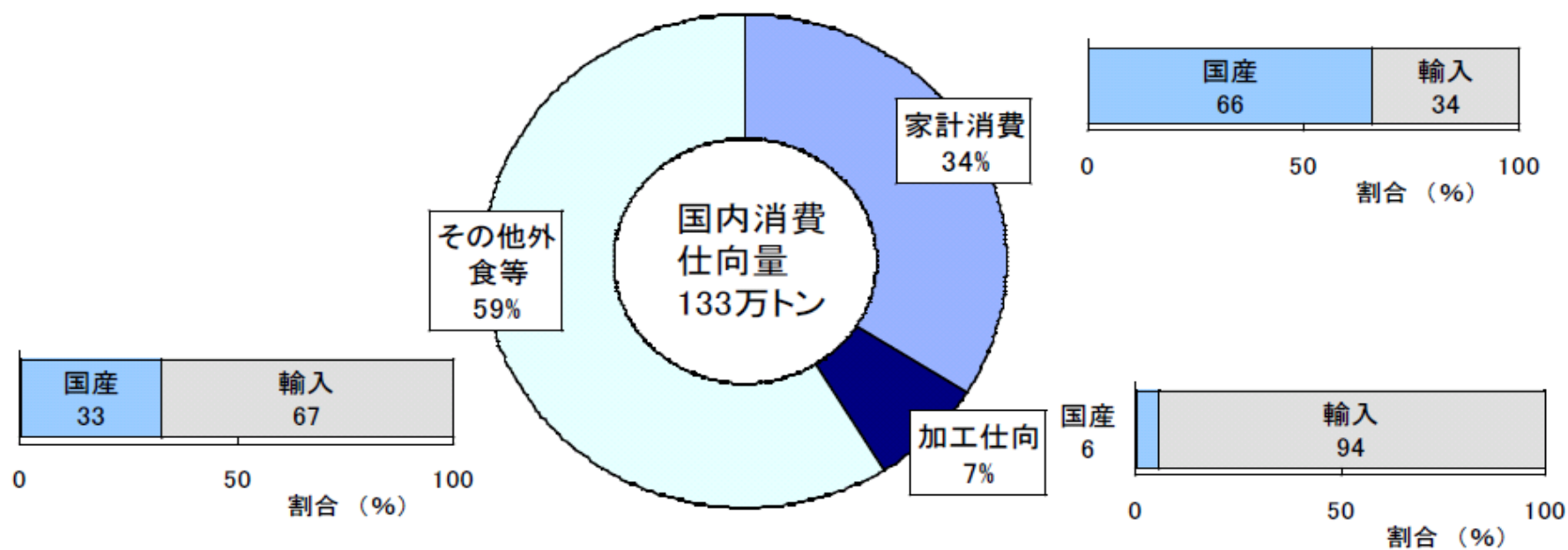
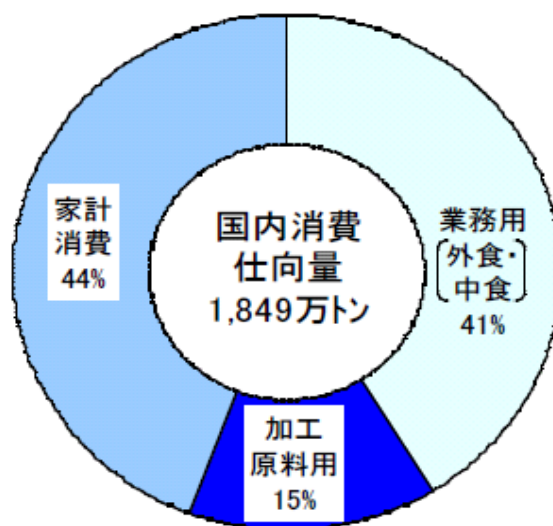


図25 野菜の用途別消費仕向量の内訳（平成12年）



（資料）農林水産政策研究所試算

図26 野菜の輸入量の推移

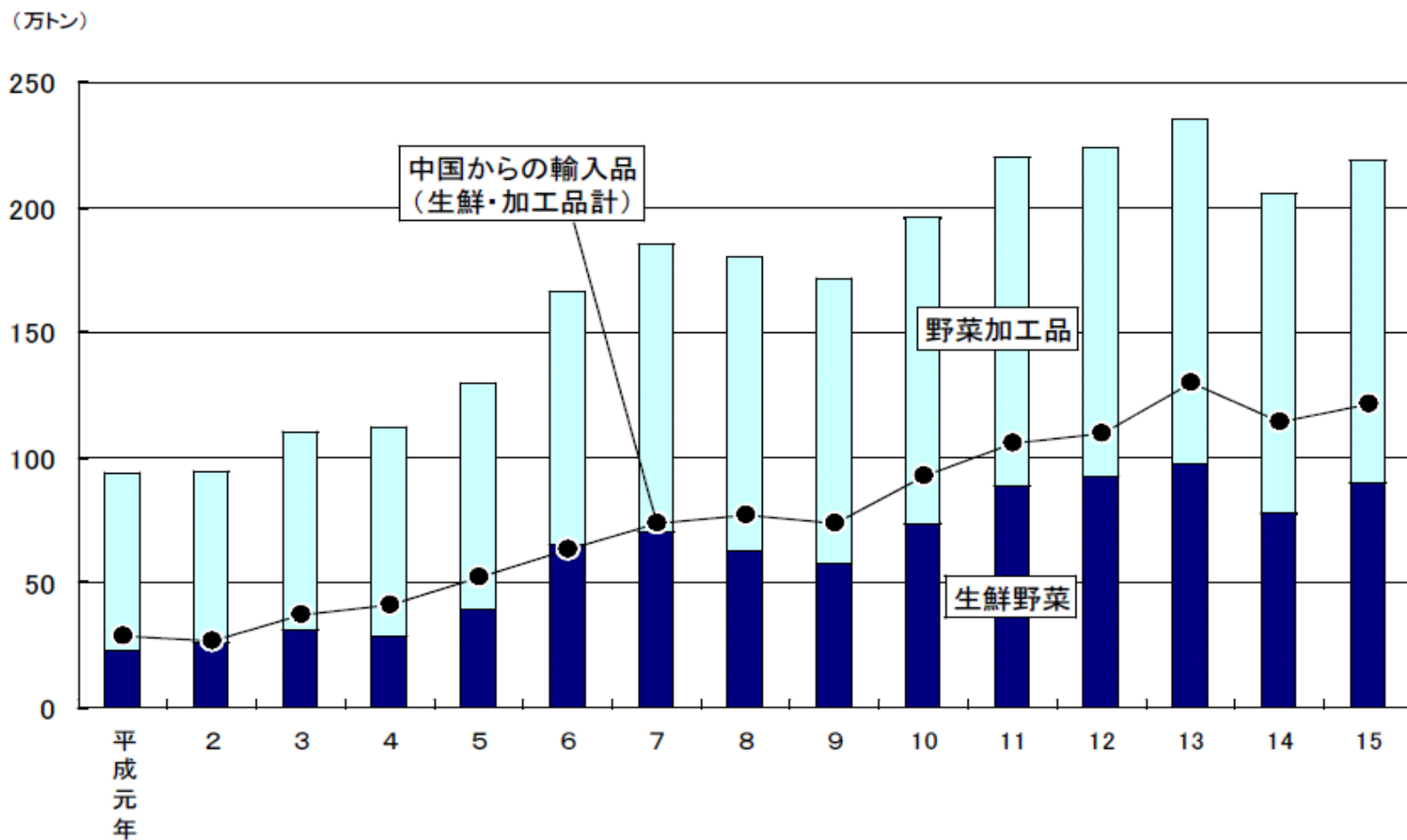
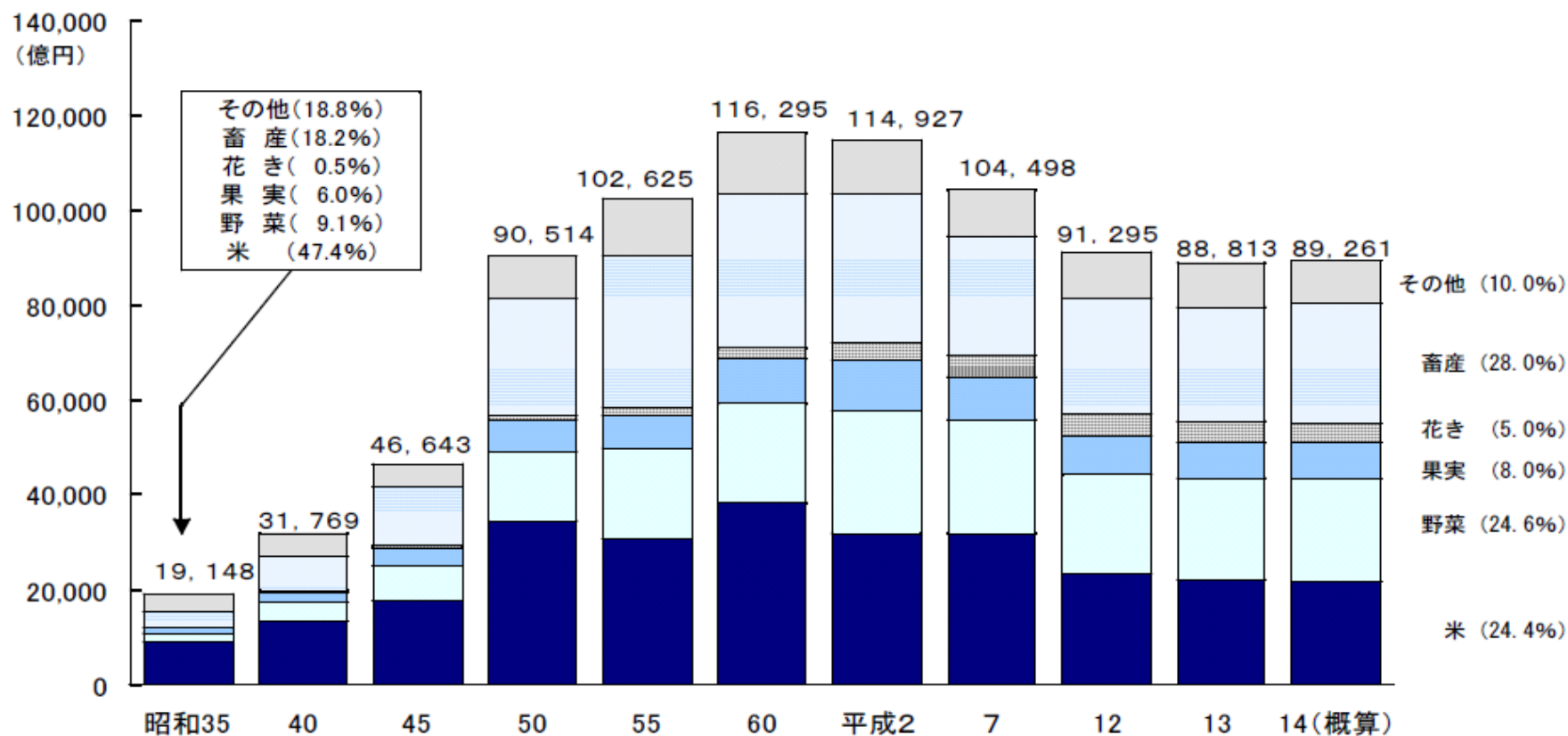
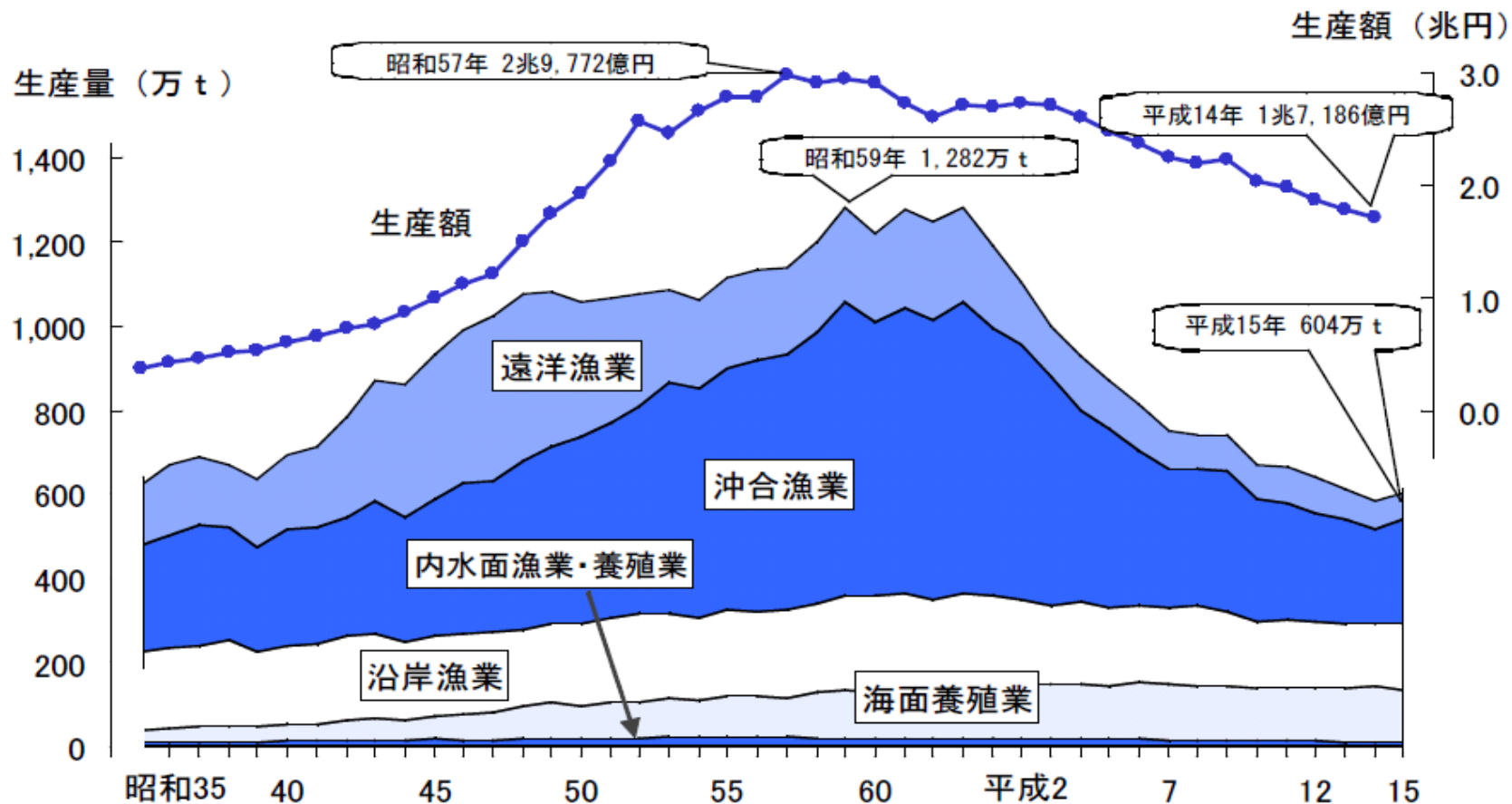


図27 農業総産出額の推移



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

図28 漁業総産出額の推移



(資料) 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

6. 我が国の食料供給の実態

今の食生活を前提とすれば輸入に依存せざるを得ない

図29 主要国の農産物の純輸入額（純輸入額＝輸入額－輸出額）（2002年）

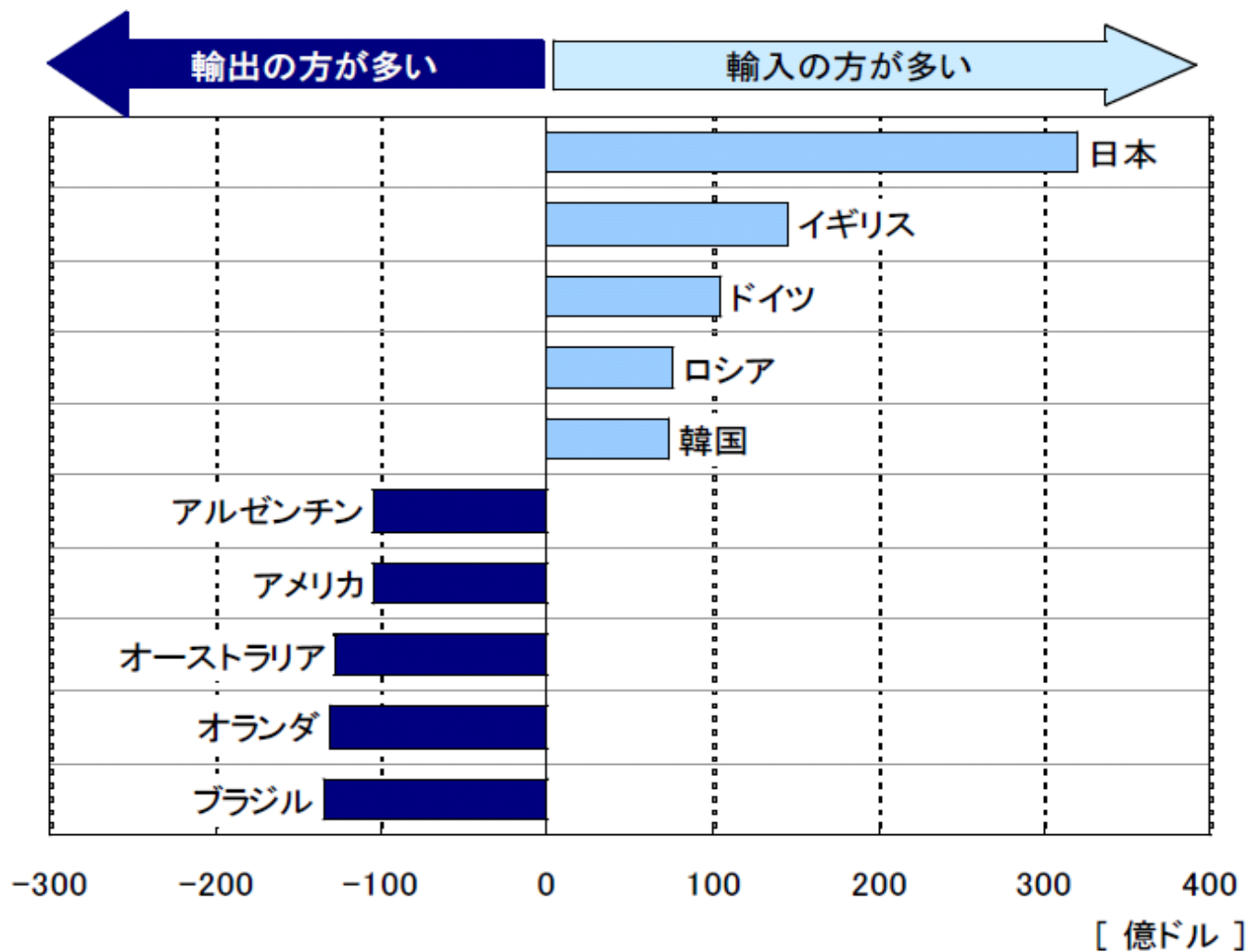


図30 加工原料に使用される穀物等の輸入量の推移

